

# 小規模神社を救え！ 故郷を救え！

～ご縁がなくなる5円玉～

DEレポート No. 14

2023年6月

作成者：M.K

 **脱炭素経営ドットコム**  
By DENKOSHA



「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



SDGsが声高に唱えられる中、日本には1000年以上続く神社が数多あり、その持続性において世界的にも注目されている。中でも20年毎に行われる伊勢神宮の式年遷宮は有名で、何故20年毎なのか？理由は不明だが、結果として新明造りの建築技術や、御装束神宝などの調度品を現在に伝える事が出来ている。

更に将来の遷宮を見越し、神宮林と呼ばれる森に200年掛かりで目標の檜が育成出来るよう大正時代から取り組んでいたりもする。

まだまだスケールの大きい取り組みはあるが、伊勢神宮以外でも大規模で人が集まる神社はこれからも持続して行くと思われる。

しかしながら、全国に8万社あると言われる神社の殆どは宮司が常駐していないような小規模な神社であり、その維持管理はどのようになっているか？興味を持ったので、調べてみた。



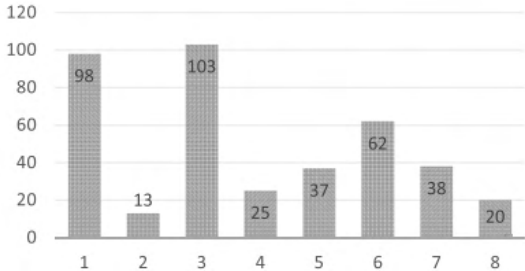
# そもそも神社ってなに？

- 古代日本人は、大木や巨岩、滝、山などに神が宿ると考え、それらの周辺は神聖なる場所とされ、やがてそこに祭場を設け、さらに風雨を凌ぐためといった理由などから建物が設けられ、それが今日の神社の形態に繋がっている
- 集落や区域ごとに建てられた神社は祭りや行事に重要な役割を果たすようになったが、最近では少子高齢化、氏子の減少、地域コミュニティの崩壊に加え、人々の信仰心の低下で寄付が集まらなくなっている
- 伊勢神宮でさえ、式年遷宮にかかる遷宮費用550億円のうち、220億円は寄付で賄われている

## ■ 神社・宮司が抱える悩み

悩んでいることは、次のうちのどれですか？  
(複数回答可)

- 1、社殿の老朽化・境内整備
- 2、近隣住民とのトラブル
- 3、氏子の減少
- 4、総代の減少
- 5、祈願の減少
- 6、経済的不安
- 7、後継者問題
- 8、兼務社に関する事項
- 9、その他



出典：埼玉県神社庁教化委員会「埼玉県神社庁設立七十周年記念『神職実態調査』報告書 平成31年3月」

## ■ 伊勢神宮 宇治橋



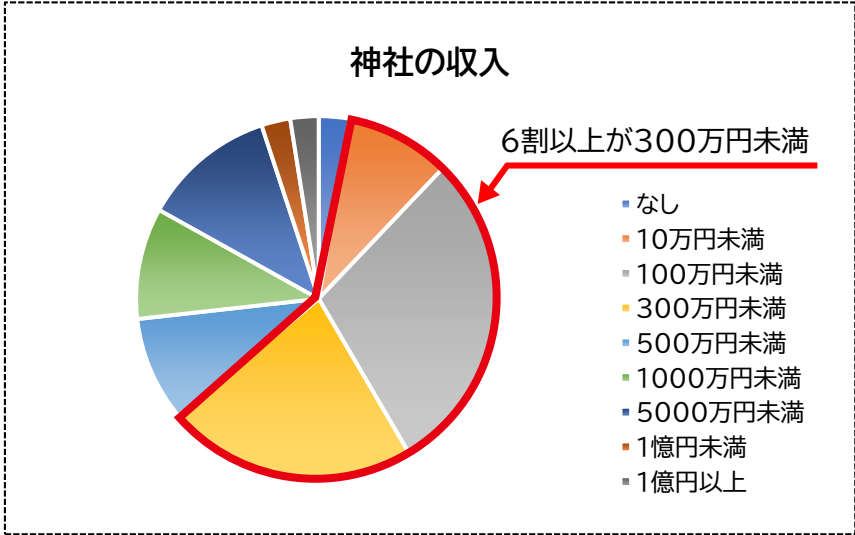
出典：著者撮影

寄付が生命線 = 地域課題 + 信仰心の大幅低下

# 神社の収入はどこから？

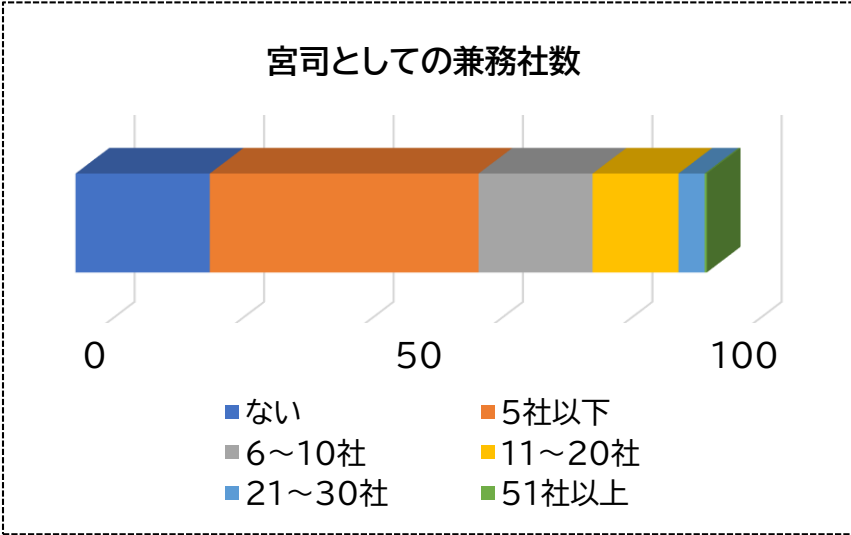
- 神社の主な収入源は①参拝者の為の祈願、祈禱 ②お札、お守り等の授与品 ③氏子、崇敬者からの寄付金 ④お賽銭とあるが、小規模神社で①は期待出来ず、②も殆ど期待出来ない。③④を期待したいところだが、氏子そのものが減少しており、神社の収入は目減りする一方である
- アンケートによると、神社の収入で100万円未満と回答したのは28.24%で、300万円未満は全体の61.18%にあたる
- しかもこのアンケートは神社本庁が行った1万310人を対象にしたアンケートで、回答率60.1%、未回答が40%近くであった。この40%の未回答者は神社活動にあまり積極的でない事が想定される為、300万円未満の収入として換算すると、実に8割が300万円未満の収入という事になる。ここから維持管理費を捻出しなくてはならない

## ■ 神社の収入の実態



出典：歴史REALWEB「第3回 神社・神職の年収は高い？低い？」を基に著者作成

## ■ 宮司としての兼務社数の実態



出典：歴史REALWEB「第3回 神社・神職の年収は高い？低い？」を基に著者作成

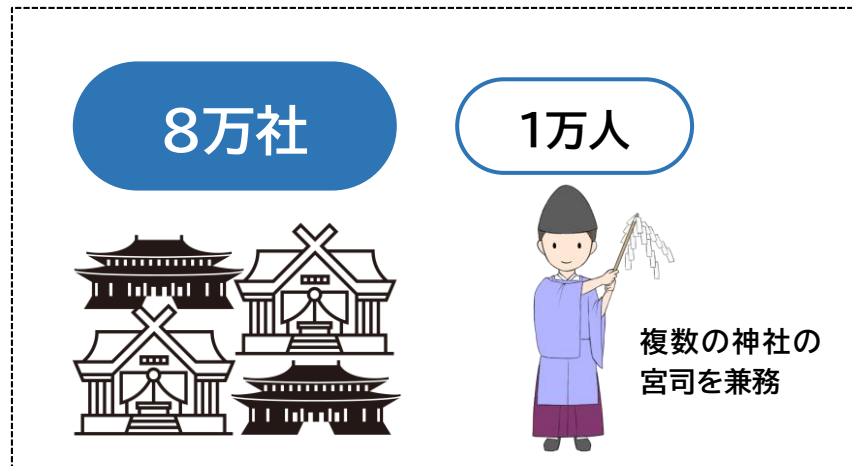
民間企業で言えば倒産状態がほとんど



## 収入の少なさの原因は？

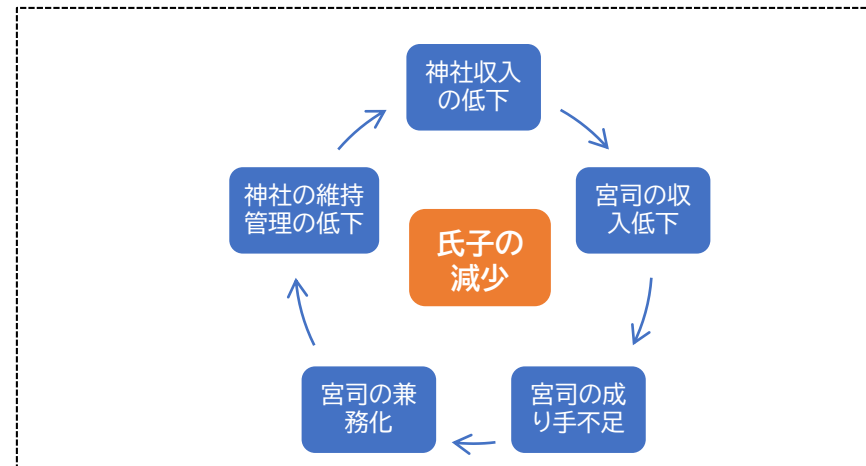
- 原因としては少子高齢化による人口減少(氏子の減少)、過疎化による地域コミュニティの崩壊、宮司(会社で言えば社長)の減少等がある
- 宮司に至っては全国8万社の神社に対し、1万人しかいない為、宮司を兼務して対応にあたっている
- 氏子の減少→神社収入の低下→宮司の収入低下→宮司の成り手不足→宮司の兼務化→神社維持管理の質の低下→神社収入の低下という負のスパイラルに陥っている
- 地方では兼務宮司すらいらない不活動神社が増えている
- 調べて意外だったが、明治23年は19万3242社、明治43年は13万7134社に対し、神職(会社でいえば社員)数は1万5000人であったが、現在の神職数は2万1700人で推移しているので、増えている側面もある

### ■ 神社の数と宮司の数



出典:歴史REALWEB「第2回 意外と知らない神社の収入源」

### ■ 神社に起こっている負のスパイラル



出典:歴史REALWEB「第3回 神社・神職の年収は高い?低い?」を基に著者作成

負のスパイラルは氏子の減少だけでなく、宮司の行動も必須

- 神社を修復するにあたり、必要になってくるのは資金をどうするか？になってくるが、神社は宗教法人にあたる為、政教分離の原則上、文化財指定や登録を受けていない神社は優遇を受けられない
- NPO法人で補助金を活用する事も出来るが、特定神社への補助金で、包括的な取り組みになっているとは言い難い

## ■ NPO法人による神社支援事業の一例

NPO法人の特定非営利活動法人神社仏閣再生推進機構による神社支援事業実績

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
コミュニティ会館の建設の企画	常楽寺において本堂・客殿等の建設に伴う企画提案・会議運営を実施した。	令和2年1月～12月	新宿区	2名	常楽寺檀家	1000名	540
支援可能者協議会等の開催	薬王寺中守稲荷において存続の為の支援可能者協議会等を実施した。	令和2年1月～9月	新宿区	1名	中守稲荷氏子	20名	0
コミュニティ会館の建設の企画	多摩川浅間神社において会館の建設に伴う企画提案・会議運営を実施した。	令和2年1月～12月	大田区	3名	多摩川浅間神社氏子・参拝者	5000名	0

令和2年度

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
コミュニティ会館の建設の企画	常楽寺において本堂・客殿等の建設に伴う企画提案・会議運営を実施した。	令和3年1月～12月	新宿区	3名	常楽寺檀家	1000名	540
コミュニティ会館の建設の企画	西明寺において参道整備の企画提案・工事計画の実施	令和3年1月～2月	川崎市	2名	西明寺檀家・参拝者	2000名	2187
コミュニティ会館の建設の企画	常楽寺において会館の建設に伴う企画提案作成の実施	令和3年1月～3月	新宿区	1名	常楽寺檀家	1000名	15
経営再生支援事業の企画案づくり	赤城神社の運営支援案づくり	令和3年9月～12月	新宿区	2名	赤城神社氏子・参拝者	5000名	0

令和3年度

出典:東京都生活文化スポーツ局 法人・団体情報詳細 「事業報告書等(令和2年度)」および「事業報告書等(令和3年度)」より抜粋

短絡的な対策では何の解決にもならない、根本的な解決策は別にある

- 新潟県中越沖地震では被災した神社に対し、「地域コミュニティ施設等再建支援事業」を利用した。これは宗教的施設の復旧という名目ではなく、「地域コミュニティ」の施設であるという建前の支援である
- 大阪にある宮大工会社の合同会社金田社寺建築は、宮大工養成塾を開き、宮大工になりたい塾生から学費を徴収し、学費の一部を神社仏閣の修復財源に充て、実践の機会を提供するというWin-Winの仕組みを作った
- この取り組みは日頃職人不足、後継者不足に悩まされている日本の工芸職人たちの「持続性」にとっても参考になる取り組みだと思う

## ■ 地域コミュニティ施設としての支援例

栃尾地区の諏訪神社の被災状況



再建修理完了後のにぎわい

出典：津久井進「被災地の宗教的施設の再建支援と政教分離原則」

## ■ 宮大工養成塾



出典：金田社寺建築HPより

能動的な行動による成功事例も多々ある

# 個人で出来る事はある？

- お参りする時に入れるお賽銭に5円玉を使う人は多い
- これはご縁がありますように。とか硬貨に穴が空いていて見通しが良い等の理由でお賽銭として好まれる。逆に500円硬貨はこれ以上の効果が無いとの理由で敬遠されると聞く
- 5円硬貨は1870年(明治3年)に発行され、穴が空いている5円硬貨は1949年(昭和24年)に発行された
- 1950年の高卒男子初任給が3500円に対し、令和4年高卒初任給は18万3400円にまで増え、52.4倍となった
- あくまでも目安だが、 $5円 \times 52.4倍 = 262円$ はお賽銭に入れたい所である

## ■ 筆者が考える“妥当なお賽銭の金額”は？



初任給データの出典:明治～令和 値段史 (coin-walk.site)

262円/回は決して高いハードルではない



# 他に何か解決策はある？

- 沖縄県石垣市が返礼品ナシのふるさと納税で尖閣諸島寄付金を募り、1ヶ月間で5000万円集まったと話題になった事がある
- これに倣い、前述したように神社の再建という名目ではなく、コミュニティ施設の再建という名目でふるさと納税を募り、PRすれば、ある程度の財源は確保出来ると思う

## ■ ふるさと納税の活用による財源確保の事例



出典:ふるさとチョイス 沖縄県石垣市

尖閣諸島は、我が国固有の領土であり  
沖縄県石垣市の行政区域です。

※尖閣諸島は、沖縄県石垣市に所在する、魚釣島、北小島、南小島、久場島、大正島、沖ノ北岩、沖ノ南岩、飛瀬などから成る島々の総称です。

# 方法論の多様化～先祖のいる自治体へのふるさと納税～

普段神社に行かない人も、初詣のお参り等でお賽銭箱を前にした時、「いくら入れれば良いんだろう?5円?50円?100円?」と気になり心配される方もいるだろうが、そうってしまう事こそが、“神様の失礼にあたりたくない”という心の現れに違いない。

日本人にとって神様はあまりにも身近で、身近故に信仰している事さえ気付かずに過ごしてしまっている。小規模神社はこれからも無くなりそうで無くならない、まさに神様のご加護(実情は厳しいながらも影で誰かが存続の努力をしてくれている)で地域に溶け込んで存在している事に日々感謝の気持ちを心掛けたい。



新潟県南魚沼市 大前神社

出典:著者撮影

## ■ 参照・引用資料

- 津久井進 被災地の宗教的施設の再建支援と正教分離原則([201310R.pdf \(religiouslaw.org\)](https://www.religiouslaw.org/201310R.pdf))
- 金田社寺建築(<https://kanatashaji.com/company>)
- 伊勢神宮 式年遷宮(<https://www.isejingu.or.jp/sengu/>)
- 埼玉県神社庁設立七十周年記念『神職実態調査』報告書(01802394.indd (saitama-jinjacho.or.jp)
- 資格広場【保存版】神主って資格って誰でも取れるの？宮司と神主の違いは？(<https://shikakuhiroba.net/sonota/2940>)
- 歴史REALWEB 社の経済学 第2回意外と知らない神社の収入源(<http://blog.livedoor.jp/rekishireal/archives/52272941.html>)
- 東京都生活文化スポーツ局 神社仏閣再生推進機構([https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo\\_houjin/list/ledger/0007722.html](https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo_houjin/list/ledger/0007722.html))
- 明治・大正・昭和・平成・令和 値段史(<https://coin-walk.site/J077.htm>)



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DELレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ  
**DENKOSHA**

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当:DELレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。